

麦をめぐる事情について (大麦・はだか麦)

政策統括官

平成 2 8 年 3 月

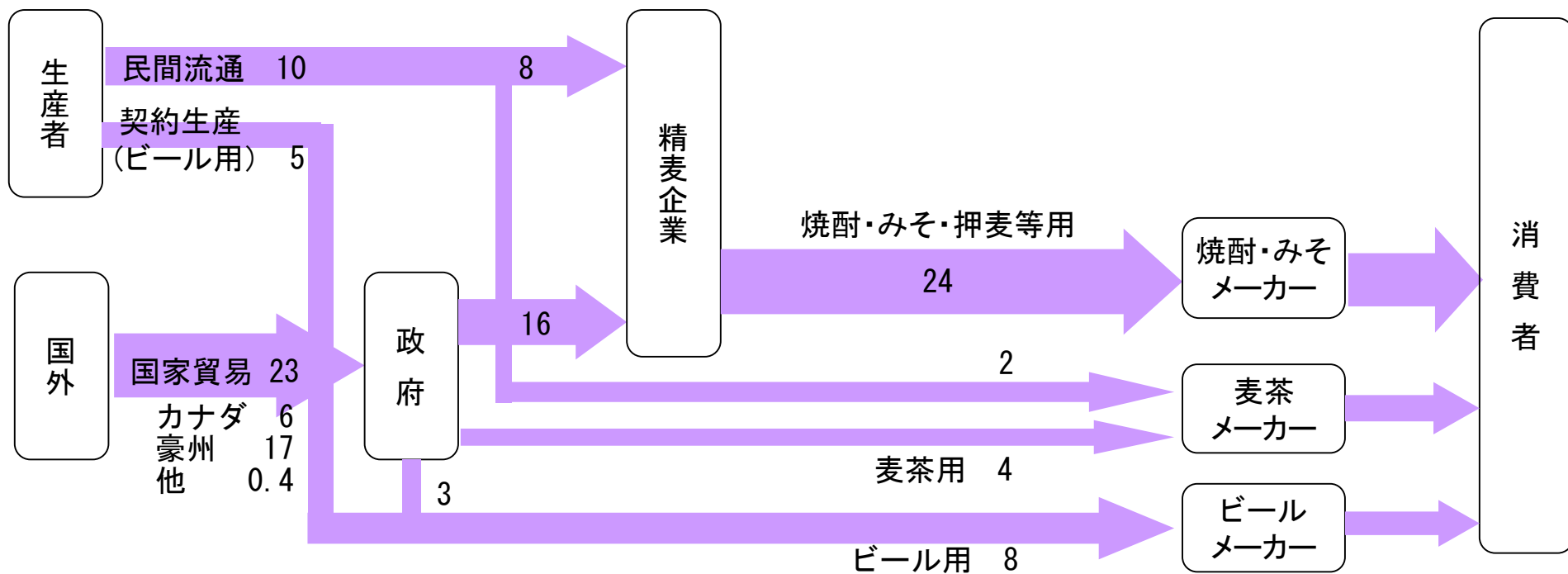
農林水産省

大麦・はだか麦の流通の概要

- 国内産大麦は民間流通により取引されており、国内産大麦では量的又は質的に満たせない需要分について、政府が国家貿易により外国産大麦を計画的に輸入し、需要者に売り渡しているところ。
- 大麦及びはだか麦は、精麦して、焼酎、みそ等の発酵用にしたり、蒸気で加熱、圧ぺんして、押麦（麦飯）用にするといった加工工程を経て流通。
- 国内産ビール大麦は、生産者団体とビール会社の間で契約栽培により供給され、麦芽等に加工されて流通。

大麦及びはだか麦の流通の現状（食糧用）

（単位：万トン）



注：流通量は過去5年（H22～H26年度）の平均数量である。

大麦・はだか麦の主な用途

- 二条大麦は、ビールや焼酎の原料。六条大麦は、押麦（麦飯）や麦茶の原料。はだか麦は、主に麦みその原料。

大麦の種類	二条大麦	六条大麦	はだか麦
主な用途	ビール 焼酎 	押麦（麦飯） 麦茶 	麦みそ 
原料麦供給先	国内産 豪州産	国内産 カナダ産	国内産

大麦・はだか麦の国内生産量及び外国産輸入量

二条大麦(焼酎用等)

- 国内産の主な生産地は北関東及び九州北部。
- 外国産の主な輸入国はオーストラリア。

(単位：千トン)

	平成22	23	24	25	26
国内生産量	56	74	57	61	59
輸入量	157	153	175	132	169

注：上記数量にはビール大麦を含まない。

資料：農林水産省「作物統計」、輸入数量は国家貿易による輸入量

二条大麦(ビール大麦)

- 国内産の主な生産地は北関東、九州北部及び北海道。
- 外国産麦芽の主な輸入国はカナダ、オーストラリア及び英国。

(単位：千トン)

	平成22	23	24	25	26
国内生産量 (玄麦ベース)	48	45	55	56	49
国内生産量 (麦芽ベース)	41	38	47	48	41
輸入量 (麦芽ベース)	537	528	533	527	525

注1：国内生産量のうち、玄麦ベースはビール大麦の契約栽培における売渡数量（農林水産省調べ）。麦芽ベースは玄麦ベースの数量に歩留り0.85を乗じた数量。

注2：輸入量は、麦芽の輸入量（暦年）とビール用大麦輸入量を麦芽換算した数量の合計（貿易統計及び農林水産省調べ）。

六条大麦

- 国内産の主な生産地は北陸及び北関東。
- 外国産はほぼ全量をカナダから輸入。

(単位：千トン)

	平成22	23	24	25	26
国内生産量	45	39	48	52	47
輸入量(主に麦茶)	32	31	42	40	54

資料：農林水産省「作物統計」、輸入数量は国家貿易による輸入量

はだか麦

- 国内産の主な生産地は九州北部と四国。
- 外国産の輸入はほぼ無い。

(単位：千トン)

	平成22	23	24	25	26
国内生産量	12	14	12	15	15
輸入量	0	1	1	4	3

資料：農林水産省「作物統計」、輸入数量は国家貿易による輸入量

※国内生産量は年産、輸入量は年度である。

国内産麦の取引の仕組み

- 国内産麦は、需要に応じた計画的生産を促進するため、収穫の前年（は種前）に生産者と需要者（製粉企業等）の間で取引数量及び取引価格について契約を結び、その契約に基づき取引を実施。
- 販売予定数量の3割について入札を行い、残りの7割については、入札で形成された価格を基本とする相対取引が行われているところ。

○ 国内産麦の民間流通(例)

<契約の流れ>

収穫前年
7月～ 生産者団体から販売予定数量、需要者団体から購入希望数量の相互提示

生産者団体と需要者
の間で、は種前
に契約を締結

8～9月 入札取引の実施（販売予定数量の約3割）

9月～ 相対取引の実施（販売予定数量の約7割）

<生産の流れ>

～12月 は種（秋まき。春まきは収穫年の4月）

は種前契約に
基づき、計画的
に作付（は種）

収穫年

麦の生育期間

6月～8月

収穫及び検査

6月～

需要者へ引渡し

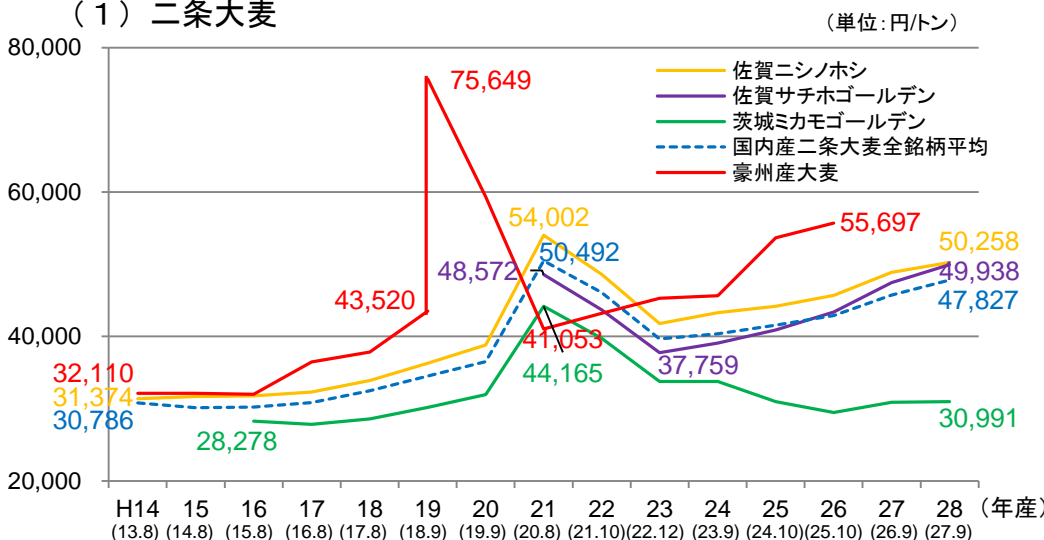
注：生産者団体と需要者で構成する民間流通連絡協議会において、値幅制限等の入札の仕組みが協議・決定されている。

国内産大麦・はだか麦の主な銘柄の取引価格の推移

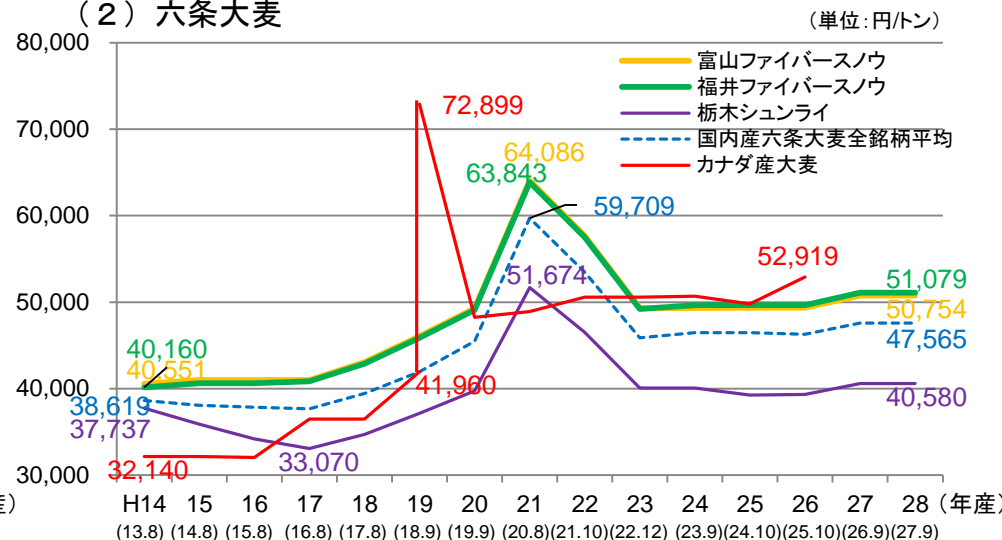
- 国内産大麦・はだか麦の取引価格は、品質や各産地の需給状況等を反映して、銘柄によって価格に差が生じているところ。
- 28年産については、全銘柄加重平均価格で、二条大麦は47,827円／トン、六条大麦は47,565円／トン、はだか麦は46,547円／トン。

○主要銘柄別の入札取引価格の推移

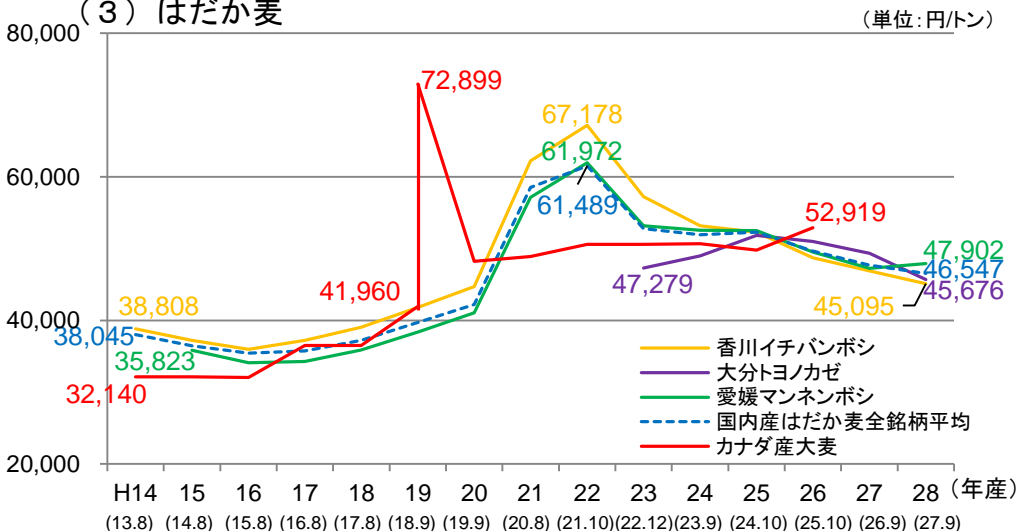
(1) 二条大麦



(2) 六条大麦



(3) はだか麦



資料:農林水産省、(一社)全国米麦改良協会調べ

注1:国内産麦の価格は、(一社)全国米麦改良協会が実施する民間流通表にかかる入札の第1回、第2回及び再入札の落札加重平均価格(税込み)。年産の下段の()内は当該第1回入札の実施年月である。

注2:外国産麦の価格は、19年までの政府売渡価格(税込み)、SBS方式が導入された19年以降における各年度の食糧用SBS大麦(輸入区分I)における政府売渡価格の加重平均価格(税込み)である。

精麦企業の状況について

- 平成26年度の精麦企業数は38社であり、10年前と比較して16社減少。
- 平成26年度の精麦の生産量は163千トンであり、本格焼酎ブームにより増加傾向であった10年前と比較して約50千トン減少。

○業種概況

項目	H16年度	H26年度
企業数	54	38
工場数	54	38
従業員数(人)	591	435
生産数量(千トン)	212	163

資料：農林水産省調べ

注：精麦企業数は、当該年度に実際に外国産麦又は国内産麦の買受実績があった企業数。